

(3) 50年ぐらい前の学校の様子

このころは、せんそうが
終わってすぐのところだっ
たので、いろいろなものが
ふそくしていました。学校
へ行くときは、かすりの着
物を着て、わらぞうりをは
き、教科書はふろしきにつ
つんでいました。学用品も
少ししかなかったので、え



昭和24年の校しゃと子どもたち

んぴつには、竹をつけて1センチぐらいになるまで大事に使っていま
した。また、図書室にある本やじてんは、小・中学生が、夏休みや冬
休みにまきを切り出してかせいだお金やつわを売ったお金で買ったも
のでした。

このころは、給食もなく、家からからいもを持って来て食べていま
した。しばらくすると、牛にゅう（だっしふんにゅう）やパンの給食
がはじまりました。子どもの数が多かったので、パンは子どもたちも
手伝って作っていました。

遊びでは、トンチンカンやこままわし、かんぜ丸などがありました
が、学校から帰ってからはあまりしませんでした。学校から帰ると、
子守や水くみ、麦ひき、夕食のからいもたきなど、毎日決まった手伝
いがたくさんあったからです。お父さんやお母さんは、夜暗くならな
いと畑仕事から帰ってこなかったもので、とてもさびしいものでした。